

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		適切であると考えている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2		配置基準に加えて2名の加配職員がいる。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	4	バリアフリー化はなされていないが、事故のリスクを減らすよう設備や業務マニュアルを作成している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	4		業務改善の必要が出た時は職員間で話し合い、改善している。	必要が出た時に行っている為、定期的に行う機会を作っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4			保護者等向けの評価表は今年度から行っている。今後ご意見を元に改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2			事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の公表は今年度から行う予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2		第三者による外部評価は行っていない。今後、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		外部研修は可能な限り参加している。	今後も外部研修には積極的に参加していく他、内部研修も行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		アセスメント・ニーズを把握し、計画の作成を行っている。	今以上に職員から見た児童の情報のアセスメントとして反映させていく必要を感じている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1	標準化されたアセスメントツールを使用している。	改善の必要があれば検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		起案は複数の職員で検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			プログラムの評価を行い、必要に応じて改善している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		4	1	時間設定での療育を行っている為、休日や長期休暇の対応はしていない。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			児童の課題に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成している。	

適切な支援の	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝のミーティング内で支援の内容や役割分担について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4		必ずでは無いが、必要に応じて支援内容の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎日の記録を元に支援の検証・改善につなげている。	

提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	3		定期的なモニタリングの他、必要に応じて見直しをしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	2		ガイドラインに沿って支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	4			サービス担当者会議はこれまで開催されていないが、当該児童の状況に精通したものが参加するようにしたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	4		送迎時に学校担任教諭との情報交換を行っている。	必要があれば会議の開催や情報交換を密に行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3		医療的ケアが必要な児童はいないが、アレルギーやてんかんのある児童がいる為、病院や主治医を確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5			移行支援を行う児童がいないが、今後必要に応じて連携をとっていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	1		移行支援を行う児童がいないが、今後必要に応じて連携をとっていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		児童発達支援センター開催の研修や見学を行い、職員のスキルアップを図っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	2		障がいの有無に関わらず、多くの児童と関わる機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	日程が合わず、参加が出来ていなかった。	今後は積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡ノートや送迎時に直接情報交換を行っている。	時間を設けて面談する事が出来ていない為、今後実施していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3	今年度は実施に至っていない。	来年度は実施していく予定。
		30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に不明なところが無い様に丁寧に説明を行っている。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		現在は送迎時に説明してお渡ししている。	今後は、保護者と直接説明する時間を設けていきたい。

保	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	今年度は実施に至っていない。	来年度の実施に向けて検討していきたい。
---	----	---	--	---	---	----------------	---------------------

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		苦情対応体制を整備し、保護者へ周知している。保護者からの苦情に対しては速やかな状況説明と改善方法を伝えるよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		毎月おたよりを発行している他、ホームページ上には毎日の様子をブログで紹介している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			十分に注意を払って管理している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			児童の特性を考えて配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3		開所前に内覧会を実施している。	今後も何か地域に向けた催しを検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	4		策定している。	周知が不完全な為、玄関の掲示などを行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	4		スタッフ内での情報伝達研修にとどまっている。	今後は年に2回以上の防災訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	3		虐待の研修を受講し、事業所内で伝達研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		現在まで身体拘束を行った事は無いが、やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み、進めていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	1	利用開始時に保護者からの聞き取りを元に対応している。	必要があれば医師からの指示書を元に対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハット報告は回覧し、会議内で話し合っている。	